

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。7



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



カリキュラム
研究ユニット

広島叡智学園で 未来創造科の 「Global Justice」単元 を実施しました(2)



活動日時 2020年1月11日(土)

活動従事者 草原和博, 金鍾成



広島大学教育ビジョンセンター(EVRI)は、2018年度より広島県立広島叡智学園中学校・高等学校と研究協力に関する覚書を締結しています。研究協力の事項の一つに、教育カリキュラムとその指導法・評価法の開発・改善があります。今年度は、未来創造科の一領域「Global Justice」において、カリキュラムの共同開発・共同実践に取り組んでいます。そこで、2020年1月11日(土)には、金鍾成先生の単元理論に基づいて、草原和博先生が、教科書を媒介にしてGlobal Justiceを考える授業を実施しました。

今回は、「日米教科書プロジェクト(3)」と題して、叡智学園の生徒と米国カリフォルニアの小学生が「ヒロシマ教科書」を共同開発する3時間の授業が行われました。1時間目は、米国側の教科書を読んで、「それを受け入れることができるかを」をめぐって意見交流をしました。2時間目は、叡智学園が提案した教科書と米国の小

学生が提案した共同教科書を比較しながら、類似点と相違点をカードに書きだし、違いが生じた理由を考察しました。3時間目は、類似点や相違点をもとに米国の小学生が提案した教科書のPROS(参考にしたところ)とCONS(改善してほしいところ)を話し合いました。その後、米国の小学生に伝えるべきPROSとCONSを計10個選取り、それに基づいて意見書を執筆しました。

今回作成した意見書は英語に翻訳され、米国カリフォルニア州の小学校に手渡されます。そして、同校の児童に意見書を読んでもらい、教科書の修正・改善を求めます。次回の「日米教科書プロジェクト(4)」では、米国側から再提案された教科書をあらためて検討し、対話を基盤とした「日米共同ヒロシマ教科書」の完成を目指します。

EVRIは引き続き、Global Justice単元の指導法・評価法の開発に協力して参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

